

令和 8 年度当初予算（案）主要施策の概要

環 境 農 政 局

(問合せ先)
環境農政局総務室
企画調整担当課長 小林 電話 045-210-4011

目 次

I	令和8年度当初予算（案）前年度比較表	1
II	令和8年度主要事業の概要	2
○	脱炭素社会の実現に向けた取組	2
○	循環型社会づくりの推進	5
○	生活環境の保全	7
○	自然環境の保全・再生と活用	9
○	持続可能な農林水産業の実現	13
○	GREEN×EXPO 2027に向けた取組	22
III	参考資料	24
1	脱炭素社会の実現に向けた取組	24
2	循環型社会づくりの推進	26
3	水源環境保全・再生への取組 (水源環境保全・再生事業会計)	28
4	持続可能な農林水産業の実現	30
5	GREEN×EXPO 2027に向けた取組	32

(注) この資料の金額は、表示単位未満切り捨てのため合計と符合しないことがあります。

I 令和8年度当初予算（案）前年度比較表

（一般会計）

（単位：百万円、％）

内 訳 科 目	令和8年度 当初予算額 (案) A	令和7年度 当初予算額 B	対 前 年 度 比 較		令 和 8 年 度 の 財 源 内 訳				備 考
			増減額 A-B	比率 A/B	特 定 財 源			一般財源	
					国 庫 支出金	県 債	その他		
(款) 環 境 費	19,104	18,134	970	105.3	720	2,647	5,332	10,403	
(項) 環境管理費	16,273	15,297	976	106.4	130	2,093	4,169	9,881	
(項) 環境保全 対 策 費	1,365	1,537	△ 172	88.8	252	104	955	52	
(項) 自然保護費	1,465	1,299	166	112.8	337	450	207	470	
(款) 農林水産業費	21,767	20,258	1,509	107.4	3,526	3,095	2,068	13,077	
(項) 農 業 費	5,619	3,805	1,814	147.7	385	36	821	4,376	
(項) 畜産業費	749	545	204	137.2	204	99	129	316	
(項) 農 地 費	2,424	2,416	8	100.3	1,149	580	342	352	
(項) 林 業 費	10,584	11,122	△ 538	95.2	972	1,690	527	7,393	
(項) 水産業費	2,390	2,368	22	101.0	814	690	246	639	
(款) 災害復旧費	520	520	0	100.0	250	234	—	36	
(項) 農林水産施 設災害復旧費	520	520	0	100.0	250	234	—	36	
小 計	41,392	38,913	2,479	106.4	4,497	5,976	7,401	23,517	
							35	△ 35	その他 特定収入
一般会計 計	41,392	38,913	2,479	106.4	4,497	5,976	7,437	23,481	

（特別会計）

恩賜記念林業振興 資金会計	143	143	0	100.1					
林業改善資金会計	46	78	△ 32	60.1					
水源環境保全・再 生事業会計	10,266	9,963	303	103.0					
沿岸漁業改善資金 会計	160	106	54	151.1					
特別会計 計	10,616	10,290	326	103.2					

環境農政局合計	52,008	49,204	2,804	105.7					
---------	--------	--------	-------	-------	--	--	--	--	--

Ⅱ 令和8年度主要事業の概要

㊦印は、令和8年度新規事業です。

☆印は、内容の詳細が別冊「付属資料」に記載されています。

丸数字は、事業の対象区域を示すものです。

- ① 全市町村、② 政令市を除く市町村、
- ③ 政令市・中核市を除く市町村、④ 特定市町村、
- ⑤ その他

脱炭素社会の実現に向けた取組

1 産業・業務部門の取組

- (1) 中小企業脱炭素相談支援事業費補助 ① 32,359千円☆
公益財団法人神奈川産業振興センターが行う脱炭素に係る相談窓口の設置や出張相談等に対して補助する。
- (2) 中小企業CO₂排出量管理システム導入支援事業費 ① 34,234千円☆
中小企業によるCO₂排出量の把握と脱炭素化を促進するため、CO₂排出量管理システムを導入する中小企業を支援する。
- (3) 中小企業省エネルギー診断支援事業費 ① 40,000千円☆
中小企業の省エネルギー対策を促進するため、省エネルギー診断を行う中小企業を支援する。
- (4) 太陽光発電設備導入提案事業費 ① 40,054千円☆
事業者の太陽光発電の導入を促進するため、潜在的に関心のある事業者を掘り起こし、設置場所や費用等の具体的な提案を行う。
- (5) 中小企業省エネルギー設備導入費等補助 ① 375,000千円☆
中小企業の省エネルギー対策を促進するため、中小企業による省エネルギー設備の導入等に対して補助する。
- (6) 自家消費型再生可能エネルギー導入費補助 ① 993,000千円☆
事業所への再生可能エネルギー・蓄電池の更なる導入拡大を図るため、自家消費型の再生可能エネルギー・蓄電池の導入に対する補助を拡充する。
- (7) VPP形成促進事業費補助 ① 22,000千円
太陽光発電や蓄電池、EV等を高度なエネルギー・マネジメント技術で制御し、あたかも一つの発電所のように機能させることで、電力の需給バランスを保つ調整力として

活用するバーチャル・パワー・プラント（VPP）を形成する事業に対して補助する。

2 家庭部門の取組

(1) かながわ脱炭素アクション創出事業費 ① 50,000千円☆

脱炭素の自分事化に向けて、事業者が付与する既存のポイントに上乗せしてポイントを付与し、脱炭素に資する商品の購入を促す「かながわCO₂CO₂（コツコツ）ポイント」事業を実施する。

(2) 地域脱炭素普及啓発事業費 ① 12,500千円☆

地域の脱炭素化に向けた意識の醸成を図るため、市町村等と連携しながら、若年者も含めた幅広い世代の住民が参加するワークショップを実施する。

(3) 住宅用太陽光発電・蓄電池導入費補助 ① 430,000千円☆

住宅への太陽光発電・蓄電池の更なる導入拡大を図るため、太陽光発電と蓄電池を併せた導入に対する補助を拡充する。

(4) ZEH導入費補助 ① 90,000千円☆

住宅の脱炭素化を促進するため、中小工務店が施工するネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）の導入に対する補助を拡充する。

(5) 既存住宅省エネ改修事業費補助 ① 60,000千円☆

住宅の省エネ化を促進するため、既存住宅の省エネ改修に対して補助する。

(6) 太陽光発電初期費用ゼロ促進事業費補助 ① 127,000千円☆

住宅への太陽光発電・蓄電池の更なる導入拡大を図るため、初期費用ゼロで住宅に太陽光発電・蓄電池を導入する事業（住宅用0円ソーラー）に対して補助する。

3 運輸部門の取組

一部④(1) 事業用等EV導入費補助 ① 1,000,000千円☆

走行時にCO₂を排出しない電気自動車（EV）の普及を促進するため、事業用等EV（バス、タクシー、トラック及びレンタカー等に限る）の導入に対して補助する。また、GREEN×EXPO 2027において来場者の移動を円滑にするとともに、GREEN×EXPO 2027を契機としてEVバスの普及を加速化させるため、EVバスの導入に対する補助を拡充する。

(2) EV充電設備整備費補助 ①

155,000千円☆

EVの普及に不可欠な充電環境の整備を促進するため、公共用等の急速充電設備や共同住宅等の普通充電設備の整備に対して補助する。

一部④(3) FCV導入費等補助 ①

247,000千円☆

走行時にCO₂を排出しない燃料電池自動車（FCV）の普及を促進するため、FCV等の導入に対して補助する。また、国の「燃料電池商用車の導入促進に関する重点地域」に選定されたことを受け、新たにFCバスの導入等に対して補助するとともに、FCトラックの導入等に対する補助を拡充する。

一部④(4) 水素ステーション整備費等補助 ①

122,000千円☆

FCVの普及に不可欠な水素ステーションの整備を促進するため、定置式水素ステーションの整備に対して補助するとともに、国の「燃料電池商用車の導入促進に関する重点地域」に選定されたことを受け、商用FCV対応水素ステーションの運営に対する補助を拡充する。

4 その他ガス対策

(1) 畜産業脱炭素推進事業費 ①

17,000千円

牛の消化器から発生するメタンガス等を抑制するため、未利用海藻等を飼料として利用する技術の検証等を行う。

5 吸収源対策

(1) 脱炭素社会実現「まちのもり」創出事業費補助 ①

43,500千円

木造施設の建築等により抑制される炭素排出量及び使用する木材に固定（吸収）されている炭素量の価値に対して補助する。この取組を通じて、県民への木材利用の普及啓発を行う。

(2) 磯焼け対策事業費 ①

18,496千円☆

培養施設で大量に生産した早熟カジメ^{※1}等の種苗を、中間育成施設で成熟するまで育ててから、漁業者や市民団体等と連携して海底に移植することで、藻場の再生を加速化させ、磯焼け^{※2}した漁場の回復を図るとともに、ブルーカーボンによるCO₂吸収効果の増大にもつなげる。

※1 海藻の一種であるカジメのうち成熟が早いもの。

※2 海藻が魚などに食べつくされ藻場が消失する現象。

- (3) ブルーカーボンクレジット化促進事業費 ① 19,574千円☆
漁業協同組合など、藻場再生の担い手による自立的かつ継続的な取組を可能にするため、ブルーカーボンクレジットの申請に向けて伴走支援等を行う。

6 横断的な取組

- 一部⑩ (1) 次世代型太陽電池普及促進事業費補助 ① 60,074千円☆
ペロブスカイト太陽電池等の次世代型太陽電池の早期普及を図るため、これまで設置が困難であった工場や倉庫など県の地域特性を活かし、民間施設における実証に対して補助する。

7 県庁の率先実行（予算額には他局計上分を含む）

- (1) 県有施設の照明のLED化 ① 10,739,824千円☆
県有施設の照明を2027年度までに原則LED化するため、重点的に整備を行う。

- 一部⑩ (2) 県有施設への太陽光発電等の導入 ① 2,497,052千円☆
設置可能な県有施設において、2030年度までに50%、2040年度までに100%の導入を図るため、境川遊水地公園（藤沢市今田）等に太陽光発電等を設置するとともに、新たに、PPA（電力購入契約）による導入に向けて取り組む。加えて、限定的に供給されるペロブスカイト太陽電池を県有施設に先行的に設置する。

- (3) 県有施設の再生可能エネルギー電力の利用 ① 一千円※☆
2030年度までに全県有施設の使用電力を100%再生可能エネルギー化するため、再生可能エネルギー電力を調達する。
※ 各局の維持運営費に計上しているため、「一千円」としている。

- (4) 公用車の電動車化 ① 566,485千円☆
代替可能な車両がない場合を除き、公用車を2028年度までに全て電動車化（EV、FCV、PHV、HV）するため、182台を電動車化する。

循環型社会づくりの推進

1 資源循環の推進

- (1) 廃棄物総合対策推進事業費 ① 22,391千円
事業者の3R（リデュース：排出抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生利用）に向けた取組を支援するため、多量排出事業者等が提出する報告書の集計・分析結果や取組事例等を情報提供するほか、3Rに関する普及啓発等を実施する。

(2) 循環型社会づくり推進事業費 ① 2,167千円

循環型社会づくり計画の目標の達成に向け、施策の柱である「資源循環の推進」及び「適正処理の推進」を図るため、食品廃棄物の削減や資源循環の推進に係る普及啓発等を実施する。

⑦ (3) 食べ残し食品持ち帰り促進事業費 ① 3,500千円☆

飲食店において、どうしても食べきれず食べ残してしまった食品の持ち帰りを促進するため、持ち帰り用の容器（ドギーバック）を作成・配布する。

⑦ (4) リチウムイオン電池等の適切な分別に向けた普及啓発事業費 ① 2,500千円☆

次世代を担う立場にある高校生などを対象に、リチウムイオン電池及びリチウムイオン電池を使った製品の適切な分別に関する周知啓発を、SNS動画広告を活用して実施する。

(5) 次期ごみ処理長期広域化・集約化計画策定事業費 ① 16,054千円

ごみ処理について、将来にわたり持続可能な適正処理を確保し、同時に脱炭素化も推進していくため、「長期広域化・集約化計画」を策定する。

(6) プラスチックごみ削減推進事業費 ① 6,441千円☆

「かながわプラごみゼロ宣言」に基づき、2030年までのできるだけ早期に、リサイクルされずに廃棄されるプラスチックごみゼロを目指すため、プラスチック使用製品の使用の合理化の促進、クリーン活動の拡大等に係る取組を行う。

一部⑦ (7) プラスチック等資源循環普及啓発推進費 ① 29,353千円☆

ライフサイクル全体での徹底的な資源循環を推進し2050年脱炭素社会実現に貢献するため、外部イベントへの出展企画・運営等の委託に加え、新たに「ベトナムフェスタin 神奈川」におけるリユース食器導入、県内の大学等の学生団体等を対象にしたプラごみ削減の取組への支援を実施し、プラスチック資源循環に係る普及啓発を一層推進する。

2 適正処理の推進

一部⑦ (1) 海岸漂着物等対策事業費 ①・④ 322,997千円☆

海岸の良好な景観や環境を保全するため、公益財団法人かながわ海岸美化財団が実施する海岸清掃事業費を負担し、相模湾沿岸13市町の海岸清掃事業費を補助するとともに、新たに海や河川等からプラスチックごみを回収する技術について、実証実験を実施する。

(2) 産業廃棄物最終処分場費 ①

560,225千円

産業廃棄物の適正処理を推進するため、安全性のモデルとして設置されたかながわ環境整備センター（横須賀市芦名）の運営を行う。

(3) ポリ塩化ビフェニル廃棄物等適正処理推進事業費 ③

1,452千円

P C B廃棄物の適正処理を推進するため、低濃度P C B廃棄物の保管事業者等に対して届出及び処分期間内の計画的な処理を指導する。

生活環境の保全

1 大気水質保全の取組

(1) 大気汚染監視用機器更新費 ④

47,849千円

県民の健康の保護と生活環境の保全のため、大気汚染防止法に基づき、PM2.5など大気中の汚染物質を常時監視するための測定機器を計画的に更新する。

(2) 水質常時監視費 ④

58,102千円

河川・湖沼等の公共用水域及び地下水における水質汚濁等の状況を適正に把握するため、水質汚濁防止法に基づき、公共用水域及び地下水のモニタリング調査を行う。また、地下水における有機フッ素化合物（P F A S）の実態把握を進める。

一部⑤ (3) 代替フロン排出抑制対策事業費 ①

25,938千円☆

代替フロンの排出を抑制するため、業務用冷凍空調機器を使用する管理者、充填回収業者及び解体現場関係者等を対象に普及啓発を行ってきたが、加えて、代替フロンの地球温暖化への影響等について認知度を高めるため、広く県民を対象に普及啓発を行う。

⑤ (4) P F A S対策推進事業費 ④

17,380千円☆

人の健康等に影響を及ぼす可能性が指摘されているP F O S等による広域的な水環境汚染の未然防止を図るため、P F O S等を含有する泡消火薬剤について、県内全域における所在、在庫量等を正確に把握し、当該泡消火薬剤所有者に対する普及啓発を行う。

2 自動車交通環境対策の推進

(1) 自動車排出NO_x・PM総量削減対策推進事業費 ①

11,317千円

自動車NO_x・PM法に基づく総量削減計画の進捗状況調査を実施するとともに、総量削減計画の目標を達成するため、生活環境の保全等に関する条例に基づく旧式ディーゼル自動車の運行規制等に係る指導・取締り及び規制内容の周知を行う。

3 化学物質の環境影響低減化の推進

(1) 化学物質環境調査事業費 ② 3,302千円

化学物質による汚染の実態を把握して環境影響の評価を行うため、調査を実施するとともに、測定方法の検証や分析方法の開発等を行う。

(2) ダイオキシン対策推進事業費 ③ 10,372千円

ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、大気、公共用水域・土壌・地下水の環境汚染状況を把握するためのモニタリング調査を行う。

4 アスベスト対策の推進

(1) 災害時等アスベスト飛散防止対策推進事業費 ④ 2,840千円

大規模災害時のアスベストの飛散を防止するため、大気汚染防止法等に基づき、平常時から建築物の所有者等によるアスベスト含有建材の使用の有無の把握調査を促進する取組を行う。

5 水環境保全対策の推進

(1) 流域環境保全行動推進事業費 ① 2,260千円

上流域を含めた相模川や酒匂川の流域環境を保全するため、市民、事業者、行政が一体となった取組を推進する。

6 地下水保全対策の推進

一部④ (1) 地下水・土壌保全対策推進費 ④ 12,862千円

県民の健康の保護と生活環境の保全のため、水質汚濁防止法、土壌汚染対策法及び生活環境の保全等に関する条例に基づき、地下水及び土壌の汚染への迅速な対応と効果的な浄化対策指導、地盤沈下対策等を行う。また、令和7年度に実施した衛星データを活用した調査結果を踏まえ、新たに地盤沈下対策の検討を行う。

7 地球規模環境問題対策の推進

(1) (公財) 地球環境戦略研究機関補助 ① 86,455千円

地球規模の持続可能な開発を実現していくために必要な環境にかかる政策的・実践的な研究を行う公益財団法人地球環境戦略研究機関に対して、誘致自治体として運営費を補助する。

8 環境に配慮した活動の推進

(1) 環境影響評価条例運営費 ① 4,812千円

環境影響評価法及び環境影響評価条例に基づき、一定規模以上の事業について、環境

影響評価のための審査を行う。

9 総合的な環境学習・教育の推進

(1) 環境学習推進事業費 ①

2,420千円

環境学習を推進するため、環境問題についての知識や経験を有する企業やNPO等の専門家を学校に派遣する。

●(2) 環境教育推進事業費 ①

7,400千円

環境教育の推進に向けて、若者世代に環境問題への関心を深めてもらうため、高校生による環境活動の取組発表や意見交換等を中心としたイベントを開催する。

(3) 環境学習機能充実強化事業費 ①

16,965千円☆

環境学習を推進するため、環境科学センターにおける環境学習機能の充実強化に必要な基盤を整備するとともに、環境保全に係る県民活動の支援や将来の活動実践者の育成を行う。

自然環境の保全・再生と活用

1 地域の特性を生かした多彩な森林づくり

(1) 造林事業費 ①

116,165千円

森林資源の充実や県土保全など、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、民有林の適正な整備に対して補助する。

(2) 治山事業費 ④

1,205,403千円☆

山地災害の防止、水源かん養機能の向上、生活環境の保全を図るため、荒廃地の復旧、山地災害危険地区の保全を行うとともに、既存の治山施設の補修を行う。

＜実施地区＞相模原市緑区川尻（竜籠）ほか31箇所

(3) 保安林改良事業費 ①

124,556千円

自然災害等により水源かん養等の機能が低下した保安林において、機能の回復、高度発揮を図るため、森林整備を実施する。

＜実施地区＞清川村煤ヶ谷ほか5箇所

(4) 松くい虫等防除事業費 ①

14,943千円

松くい虫による松枯れ被害及びカシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害を防除するため、樹幹への薬剤注入や被害木の駆除による防除事業を実施する市町村に対して補助する。

2 水源の森林づくりの推進

(1) 水源の森林づくり事業費 ④ 2,502,164千円

水源かん養など森林の持つ公益的機能の向上を図り、良質な水を安定的に確保するため、水源の森林エリア内の私有林の公的管理・支援を推進する。

(2) 水源林土壌保全対策事業費 ④ 751,004千円

森林の土壌保全を図るため、県内水源保全地域内において、崩壊地の拡大等を防止する土木的工法も採り入れた対策に取り組むとともに、土壌流出が懸念される森林において、筋工や植生保護柵等を組み合わせた対策を推進する。

(3) 県民参加森林づくり活動事業費 ① 77,168千円

県民との協働による森林づくり活動を推進するため、森林づくり県民運動の普及啓発等を行う公益財団法人かながわトラストみどり財団に対して補助する。

3 水源環境保全・再生を支える取組の推進

(1) 市町村事業推進費 ④ 2,284,800千円

相模原市ほか16市町村が主体的に実施する水源環境保全・再生の取組の着実な推進を図るため、当該市町村が計画的に実施する事業に対して補助する。

(2) 相模川水系県外上流域対策費 ⑤ 51,215千円

相模川水系の県外上流域における水源環境の保全・再生を図るため、山梨県と共同して、森林整備及び生活排水対策の取組を実施する。

(3) 県民会議等運営費 ① 55,960千円

県民参加のもとで水源環境保全・再生施策を推進するため、水源環境保全・再生かながわ県民会議の運営や施策の普及啓発等を行うとともに、市民団体やNPO等が実施する水源環境保全活動に対して補助する。

4 丹沢大山の自然再生

(1) 自然公園施設整備費 ④ 481,872千円

富士箱根伊豆国立公園（箱根地域）や丹沢大山国定公園等の自然環境の保全及び公園利用者の安全性・快適性の向上を図るため、登山道や利用者用トイレなどの自然公園施設を整備する。

(2) 丹沢大山保全・再生対策事業費 ④ 301,951千円☆
丹沢大山において、ブナ林等の再生の取組や、登山道補修等の県民協働事業を実施するとともに、丹沢大山及び周辺地域の植生回復と衰退防止を図るため、中高標高域におけるシカ管理捕獲を実施する。

(3) かながわパークレンジャー活動等普及啓発推進事業費 ④ 1,719千円
かながわパークレンジャーを中心に県民による自然環境保全活動を推進するとともに、自然公園指導員等の活動と連携し、自然公園の適正利用を促進する。

(4) 大涌谷自然研究路利用推進費 ④ 7,258千円
令和4年3月に再開した大涌谷自然研究路について、安全対策として実施する引率入場に必要な監視員を配置し、利用者の安全確保を図る。

5 都市の緑地の保全と活用

(1) 古都及び緑地保全事業費（公共事業） ④ 200,000千円
鎌倉などの古都における歴史的風土を保存するとともに都市近郊の緑地を保全し、良好な都市環境の形成を図るため、緑地の保全に必要な施設の整備等を実施する。

(2) 県有緑地等緊急防災対策事業費（単独事業） ④ 143,912千円
県有緑地における災害等を未然に防止するため、法面防災工事等を実施する。

(3) 小網代の森施設整備費 ④ 3,300千円
県内に残る貴重な自然である「小網代の森」（三浦市三崎町小網代）を利用する県民の利便性の向上及び安全性確保のため、適正な維持管理を行う。

(4) 小網代の森維持管理費 ④ 15,690千円
環境学習の場である「小網代の森」の適正な維持管理を行う。

(5) 地域制緑地維持管理費 ④ 22,087千円
特別緑地保全地区等の県有緑地において、適正な維持管理を行う。

(6) 古都緑地維持管理費 ④ 36,452千円
歴史的風土特別保存地区内の県有緑地において、適正な維持管理を行う。

(7) 自然環境保全対策事業費 ① 12,717千円☆
自然環境保全地域特別地区の保全を図り、自然保護思想を普及啓発することに加え、

良好な自然環境の維持・保全の一助とするため、希少種であるツキノワグマの生息状況を把握する。

- (8) 生物多様性保全基盤整備事業推進費（一部） ① 6,076千円
アドバイザーを派遣するなど県民や事業者等が生物多様性を理解し、生物多様性に配慮した行動や保全のための行動をとることを促進する取組を行う。

- (9) 神奈川県レッドデータブック更新事業費 ① 5,208千円
生物多様性の保全のため、県内希少生物の生息・生育状況を調査し、絶滅の危険度を評価したレッドデータブックの計画的・継続的な更新を行う。

6 里地里山の保全・活用

- 一部④(1) 里地里山保全等促進事業費 ④ 22,638千円☆
里地里山の保全等を促進するため、里地里山活動協定の認定を受けた団体が行う里地里山の保全等の活動に対して補助するとともに、多様な人材の継続的な参画に向けた、活動団体と大学や企業及び都市住民等とのマッチング等を実施する。また、新たに地域資源を活用した体験ツアーや販売促進など収益力向上の支援をする。

7 野生鳥獣の保護管理の推進

- 一部④(1) 地域ぐるみ鳥獣被害対策推進費 ① 30,050千円☆
地域ぐるみの鳥獣被害対策※を広げるため、かながわ鳥獣被害対策支援センター（平塚市中里）による人材育成、技術支援や効果検証等の支援を行う。また、ツキノワグマ等大型獣の市街地出没対策を強化し、新たに緊急銃猟実施訓練事業を実施する。
※ 集落環境整備、防護対策及び捕獲の3つの基本対策を地域が一体となって実施

- (2) 鳥獣被害対策事業費補助（団体） ④ 1,199千円☆
野生鳥獣による被害対策等の効果的な実施を図るため、市町村等で構成する団体が行う捕獲等の取組に対して補助する。＜市町村への補助は、政策局自治振興部市町村課の「市町村事業推進交付金」において計上＞

- (3) 鳥獣被害防止特別措置事業費補助（団体） ④ 85,123千円☆
市町村や農業協同組合等で構成する地域協議会が被害防止計画に基づいて行う鳥獣被害対策を支援するため、侵入防止柵の整備や捕獲などの取組に対して補助する。

- (4) 鳥獣被害防止特別措置事業費 ④ 5,851千円☆
農業被害防止対策等に活用するため、ニホンザルの行動分析等を実施する。

- (5) 特定鳥獣（シカ・サル）保護管理事業費 ④ 24,970千円☆

ニホンジカ管理計画及びニホンザル管理計画に基づき、丹沢大山の自然植生回復のためのシカ管理捕獲やシカ・サルの生息状況調査等を実施する。

- (6) 指定管理鳥獣捕獲等事業費 ④ 7,784千円☆

イノシシ管理計画に基づく捕獲等の取組を実施するとともに、人の日常生活圏にクマ類・イノシシが出没した場合に、地域住民の安全確保の下で市町村が緊急銃猟を行う場合等に補助する。

- (7) ヤマビル被害対策事業費補助（市町村） ④ 2,038千円☆

深刻化するヤマビル被害に対応するため、市町村が地域ぐるみで実施する環境整備活動等のヤマビル対策に対して補助する。

- (8) 特定外来生物対策事業（生物多様性保全基盤整備事業推進費で計上） ①

2,849千円☆

特定外来生物であるアライグマやクリハラリスの捕獲に向け、生息分布を把握するためのモニタリング調査を実施する。

持続可能な農林水産業の実現

1 農業の振興

- (1) スマート農業推進事業費補助 ① 19,600千円

農業生産の省力化・効率化を推進し、生産性を向上させるため、産地が一体的なスマート技術を導入する取組や、農業者が自動の小型農業機械等を導入する取組に対して補助する。

- (2) 脱炭素・低コスト農業技術確立等推進事業費 ① 2,340千円

化石燃料を使用しない施設栽培への転換を促進し、環境にやさしい持続可能な農業を実現するため、脱炭素・低コスト生産技術を確立するとともに、CO₂排出削減効果が見える化し、環境に配慮した農産物の消費者購買意向を明らかにする。

- (3) AI農業調査研究システム化事業費 ① 5,477千円☆

短期間での技術継承、産地の維持発展のため、匠の技の見える化や指導・学習システムの構築を行う。

- 一部⑦ (4) 横浜農業合同庁舎整備費 ④ 43,915千円
老朽化した横浜農業合同庁舎を建替えるため、設計施工一括発注方式（デザインビルド）による再整備を行う。また、新たに入庁所属の仮移転先整備等を行う。
- (5) かながわ農業アカデミー脱炭素教育設備等整備費 ① 54,600千円
農業分野の脱炭素化を推進するため、かながわ農業アカデミー（海老名市杉久保北）において、太陽光などの再生可能エネルギーを活用した脱炭素農業モデルによる授業などを行うための設備等を整備する。
- (6) 県産品ブランド推進事業諸費 ① 5,881千円
県産農林水産品のブランド力を強化するため、「かながわブランド」やそのサポート店を登録するとともに、県産農林水産品の販売促進等を行う協議会に対して負担金を支出する。
- (7) かながわブランドPR事業費 ① 15,000 千円☆
「かながわブランド」の広報を強化するため、「プッシュ型」広告を活用して主要駅などでPRを行う。
- (8) かながわブランド生産支援事業費補助 ① 16,000 千円☆
時代や環境に応じた「かながわブランド」の生産供給体制の確立を支援するため、生産力向上につながる機械・機器導入の補助を行う。
- (9) EC販売支援事業費 ① 5,500 千円☆
インターネット販売の活用による「かながわブランド」等の販路拡大を支援するため、新たな販路・顧客の獲得に向けて、ECサイトで物産展「神奈川県フェア」を開催する。
- 一部⑧ (10) 花と緑のふれあいセンター費 ① 328,137千円
花と緑のふれあいセンター〈花菜ガーデン〉（平塚市寺田縄）の適切な管理運営を図るため、施設整備や維持管理等に係る費用をPFI事業者に対して支払う。また、令和12年3月の契約終了に向け、新たに事業評価及び次期事業手法の検討を行う。
- (11) 大船フラワーセンター指定管理費 ① 106,755千円
大船フラワーセンター（鎌倉市岡本）の適切な管理運営を図るため、施設の維持管理等に係る費用を指定管理者に対して支払う。
- (12) 農業改良普及活動費 ① 8,054千円
地域農業の振興を図るため、普及指導員が農業者ニーズに対応した研修や巡回指

導などの普及活動を総合的に行う。

- (13) 農業担い手育成事業費 ① 3,389千円
新規就農者の確保と本県農業の将来を担う人材の育成のため、技術支援や経営改善指導等を実施するとともに、経営発展段階の農業者に対する研修等を行う。

- (14) 新規就農者経営発展支援事業費補助 ① 48,750千円
次世代を担う農業者を育成するため、新規就農者に対し、経営発展のための機械・施設等の導入を補助する。

- (15) トップ経営体育成事業費補助 ① 12,000千円
「トップ経営体」※を育成するため、意欲ある若手生産者を対象に、経営能力の開発・向上を目的に実施する「かながわ農業版MBA研修」の修了者が規模拡大に向けて行う施設整備等に対して補助する。
※ 優れた経営感覚を有する、年間販売額3,000万円以上の経営体

- 一部④(16) 農福連携推進事業費 ① 5,460千円☆
農業労働力の確保による持続可能な都市農業を振興するため、農業者が農福連携を学ぶ取組の支援や指導者の育成、生産された農産物の販売支援を行う。また、新たに、農福連携に取り組む農業経営体に対し、環境整備に係る経費に対して補助する。

- (17) 農業経営新規アイデア実現支援事業費補助 ① 30,280千円☆
経営のステップアップを目指す農業者を対象に、高品質化・生産性向上・販売先開拓等につながる農業者自らの新規アイデアの導入や施設等の整備に対して補助する。

- (18) 農道整備事業費（公共事業） ④ 764,000千円
農作物の集出荷作業の省力化や流通の改善等と、高潮等で緊急通行路である国道135号の代替路線として機能する広域農道の整備を行う。
＜実施地区＞広域農道小田原湯河原線（小田原市、真鶴町、湯河原町）ほか1地区

- (19) 農道整備事業費補助（公共事業） ④ 27,312千円
過去に国庫補助事業で建設された農道施設について、市町村が行う点検診断、保全対策等に対して補助する。
＜実施地区＞南足柄地区（南足柄市）ほか1地区

- (20) 県営かんがい排水事業費（公共事業） ④ 87,700千円
農業用水の安定的確保と用水管理の円滑化を図り、生産性の向上と農業経営の安定に資するため、幹線用水路を整備する。
＜実施地区＞相模川右岸2期地区（厚木市、伊勢原市）
- (21) 農村振興総合整備事業費（公共事業） ④ 98,000千円
かんがい施設や農道等の農村地域の振興に必要な施設整備を総合的に行う。
＜実施地区＞諸磯小網代地区（三浦市）ほか2地区
- (22) 農村振興総合整備事業費補助（公共事業） ④ 138,880千円
水路や農道等の農村地域の振興に必要な施設を地域の実情に合わせて総合的に整備する市町村（農業振興地域整備計画を定めている市町村に限る）に対して補助する。
＜実施地区＞上瀬谷地区（横浜市）ほか2地区
- (23) 農業水利施設予防保全事業費（公共事業） ④ 107,200千円
農業水利施設におけるライフサイクルコストの低減を図るため、構造物の劣化度等を診断し、最適な保全対策を実施する。
＜実施地区＞清水下地区（相模原市）ほか2地区
- (24) 農地保全事業費（公共事業） ④ 14,960千円
降雨により、急傾斜な樹園地帯が受ける侵食や崩壊を防止するため、排水路や水路兼用農道等を整備する。
＜実施地区＞曾我谷津地区（小田原市）ほか1地区
- (25) 農業用施設防災対策事業費（公共事業） ④ 174,000千円
豪雨・地震などの影響により、農業用施設が周辺地域へ被害を及ぼすことを未然に防止するため、用排水路等の整備・補強を行う。
＜実施地区＞大城地区（平塚市、伊勢原市）ほか1地区
- (26) 農業用施設防災対策事業費補助（公共事業） ④ 104,241千円
豪雨・地震などの影響により、農業用施設が周辺地域へ被害を及ぼすことを未然に防止し、避難経路を確保するなどの農村地域における防災力向上を図るため、市町村が行う用排水路等や農道（橋梁を含む）の整備・補強に対して補助する。
＜実施地区＞根府川地区（小田原市）ほか4地区

(27) 湛水防除事業費（公共事業） ④ 137,100千円

豪雨の影響により、農業用排水路からの溢水が周辺地域へ被害を及ぼすことを未然に防止するため、水路の排水能力向上を目的とした整備を行う。

＜実施地区＞鬼柳地区（小田原市、大井町）

一部⑨ (28) 里地里山保全等促進事業費（再掲） ④ 22,638千円☆

里地里山の保全等を促進するため、里地里山活動協定の認定を受けた団体が行う里地里山の保全等の活動に対して補助するとともに、多様な人材の継続的な参画に向けた、活動団体と大学や企業及び都市住民等とのマッチング等を実施する。また、新たに地域資源を活用した体験ツアーや販売促進など収益力向上の支援をする。

(29) かながわホームファーマー・農業サポーター事業費 ④ 15,254千円

農地の有効活用を図るため、耕作放棄地を借り受けて復旧し、野菜や柑橘類の栽培研修付き農園を開設する。また、一定の栽培技術と意欲のある都市住民をかながわ農業サポーターとして認定し、サポーターが耕作する農地の復旧や貸借の支援を行う。

(30) 農地集積推進事業費補助 ④ 9,547千円

担い手への農地集積を図り、農業の経営規模の拡大、農地利用の効率化を促進するため、農地の中間的受け皿となる農地中間管理機構が実施する農地売買事業における経費に対して補助する。

(31) 農地中間管理機構事業推進費補助 ④ 78,401千円

担い手への農地集積を図り、農業の経営規模の拡大、農地利用の効率化を促進するため、農地中間管理機構が実施する農地中間管理事業における経費に対して補助する。

(32) 機構集積協力金補助（国庫） ④ 2,300千円

担い手への農地集積・集約化を促進するため、農地中間管理機構に農地を貸し出した、一定の要件を満たす地域へ協力金を交付する市町村に対して補助する。

また、農地中間管理機構等が実施する遊休農地解消対策事業における経費に対して補助する。

(33) 小規模農地基盤整備事業費 ④ 28,900 千円☆

小規模な農地の集積を促進するため、担い手の営農条件改善に資する生産基盤整備

の実施と合わせて、農地の流動化に向けた担い手と所有者のマッチングに係る総合調整等を実施する。

一部⑨ (34) 企業等大規模参入促進事業費 ④ 2,000 千円☆

企業等を担い手として呼び込むため、畑地での生産基盤整備に加え、新たに荒廃化が進む樹園地において、企業等への農業参入意向調査等を行う。

2 畜産業の振興

(1) かながわ酪農活性化対策事業費 ① 5,991 千円

酪農の活性化を図るため、酪農関係団体と連携し、生産能力の高い優れた乳牛の増産技術を活用した生産基盤の強化に取り組むとともに、若者の県内酪農業への就職を促進するため、県内高校生等の牧場における実践的研修に対するフォローアップを行う。

(2) かながわ畜産物販売戦略強化事業費 ① 7,509 千円

県産畜産物の評価を高め販路拡大につなげるため、県と生産者団体で構成する協議会において、認知度向上に資する情報発信力の強化に取り組み、県産畜産物の出口戦略を推進する。

(3) 家畜伝染病予防事業費 ① 23,840 千円

ヨーネ病等の家畜伝染病の発生予防及びまん延防止のため、検査・指導及び防疫措置等を実施する。

(4) 特定家畜伝染病対策事業費 ① 132,954 千円☆

家畜伝染病のうち、発生時に大きな影響を及ぼす特定家畜伝染病（豚熱、口蹄疫、鳥インフルエンザ等）について、農場の飼養衛生管理の強化等により、県内における発生予防を図るとともに、万が一発生した際に備えた体制の充実・強化を行う。

(5) 元大野山乳牛育成牧場牧道整備工事費 ④ 110,022 千円

牧道を県営林道に移管するにあたり、利用者が安全に利用し、県が確実に管理するため、安全施設等の設置について確定した規格に基づき工事を実施する。

(6) 国産飼料確保利用調整事業費 ① 2,400 千円

水田を活用した飼料用米等の飼料確保の取組に対し、支援を行う。

(7) 畜産業脱炭素推進事業費（再掲） ① 17,000 千円

牛の消化器から発生するメタンガス等を抑制するため、未利用海藻等を飼料として利

用する技術の検証等を行う。

(8) 耕畜連携堆肥利用推進事業費 ①

4,190千円☆

畜産農家の堆肥流通停滞や耕種農家の畑等における地力低下を解消するため、畜産農家における良質堆肥生産態勢の構築やモデル地域における堆肥散布機等の整備を支援する。

(9) 耕畜連携飼料生産利用推進事業費 ①

2,600千円☆

耕種農家が飼料作物を生産し、畜産農家に供給する体制を構築するため、耕種農家によるとうもろこしの栽培と畜産農家によるとうもろこしの飼料調製を支援する。

(10) 耕畜連携農産物供給推進事業費 ①

4,990千円☆

耕畜連携により生産された農産物の高付加価値化に向けて、耕畜連携の取組にかかる連携条件の検討、消費者への地域循環による農産物生産の理解醸成を行う。

3 林業の振興

(1) スマート林業導入支援事業費補助 ①

5,694千円

森林資源情報のデジタル化、林業の生産性や安全性の向上を図るため、ICT機器や自動化・自走化機械等のスマート林業技術の導入に対し補助する。また、林業従事者を対象としたドローン森林測量講習を実施する。

(2) 高性能林業機械等導入支援事業費補助 ①

6,660千円

木材生産性の向上及び労働災害の軽減、森林資源の循環利用加速化による炭素固定増を図るため、木材生産に積極的に取り組む林業事業体の高性能林業機械等の導入に対して補助する。

(3) 脱炭素社会実現「まちのもり」創出事業費補助（再掲） ①

43,500千円

木造施設の建築等により抑制される炭素排出量及び使用する木材に固定（吸収）されている炭素量の価値に対して補助する。この取組を通じて、県民への木材利用の普及啓発を行う。

(4) エリートツリー研究開発事業費 ①

4,433千円

中長期的な森林吸収量の確保と花粉発生源対策のため、本県で生産している無花粉スギから特に成長に優れた品種を「本県独自のエリートツリー」として選抜し、挿し木苗生産をするために採穂園を整備する。

(5) かながわ森林塾推進事業費 ①

92,159千円

林業の労働力確保や就業者の育成を図るため、かながわ森林塾において新規就業希望者及び中堅・上級技術者を対象とした研修を実施する。

(6) 間伐材搬出促進事業費 ④

308,220千円

間伐材の有効活用の促進を図るため、間伐材の集材・搬出や神奈川県森林組合連合会が行う原木の安定流通等を確保する取組への補助等を実施する。

(7) 森林環境譲与税基金活用事業費（3(3)の再掲を含む） ①

142,014千円

市町村が行う森林の整備や木材利用等に関する施策を支援するため、人材・技術支援、森林情報を一元管理するシステムの運用保守、森林基盤情報の整備、広葉樹材の活用支援等を行う。また、森林や木材利用に関する普及啓発のため、県産木材の普及PRイベント等の事業を行う。

(8) 林道開設事業費 ④

190,652千円☆

林業経営の効率化や森林の適正な管理を図るため、林道の開設を行う。

＜実施地区＞林道猿沢北支線（足柄下郡箱根町）ほか4箇所

(9) 林道改良事業費 ④

1,243,654千円☆

林道の車両通行の安全性、木材生産の効率性の向上を図るため、法面保全、舗装、局部改良等を行うとともに、橋梁、トンネルの補修を行う。

＜実施地区＞林道神の川線（相模原市緑区）ほか39箇所

㊦ (10) 全国育樹祭開催準備費 ①

22,074千円

継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発するため、令和10年秋季の第51回全国育樹祭の開催に向け、会場整備や広報等を行う。

4 水産業の振興

(1) 磯焼け対策事業費（再掲） ①

18,496千円☆

培養施設で大量に生産した早熟カジメ^{※1}等の種苗を、中間育成施設で成熟するまで育ててから、漁業者や市民団体等と連携して海底に移植することで、藻場の再生を加速化させ、磯焼け^{※2}した漁場の回復を図るとともに、ブルーカーボンによるCO₂吸収効果の増大にもつなげる。

※1 海藻の一種であるカジメのうち成熟が早いもの。

※2 海藻が魚などに食べつくされ藻場が消失する現象。

(2) 漁業活性化促進事業費 ④ 9,009千円☆

定置網に、魚群探知機や水中カメラなどの遠隔監視装置を設置することで、陸上に送信された水中画像等をAIが分析し魚種や入網量等を判別するシステムを開発し、操業の効率化等を促進する。

(3) 魚類等養殖技術開発事業費 ① 14,906千円☆

小型のマサバに抗酸化作用の高いマグロの血合肉を餌として与え、魚の付加価値を高める養殖技術の開発を引き続き行う。

また、沿岸域における養殖に必要な資材の購入や販促活動の支援など、養殖事業に取り組む地元協議会と協働して試験養殖を行う。

さらに、県内で養殖事業を試験的に行っている複数の漁業者に対し、その事業化へ向けた補助を行う。

(4) 内水面漁業推進事業費 ① 2,000千円☆

内水面漁業と地域の振興を図るため、丹沢ヤマメや背掛りアユを活用して遊漁者や観光客等の増加に取り組む。

(5) 海業推進事業費 ① 17,350千円☆

経営の多角化により漁業者の所得向上を図るため、海業※に取り組む漁業者と企業のマッチングを行うとともに、シンポジウムやセミナーを開催して海業を促進する。さらに、県内の教育機関と連携して、海業の担い手を育成するための研修を実施する。

※ 漁業を核に商業、観光、教育等の分野を結び付けた複合的産業。

(6) かながわの魚販売促進事業費 ① 4,950千円

県産水産物の付加価値を向上させ消費を拡大するため、消費者の健康志向等のニーズに応えた、未病改善に役立つ地域特産品を創出する取組への支援を行うほか、手軽に食べられる加工品の開発や小売店等と連携した普及促進のための広報活動を行う。

(7) 漁業就業・定着化促進支援事業費 ① 2,216千円

新規漁業就業者への船舶免許等の取得補助、就業者の定着に向けたセミナーを開催するほか、漁業体験研修や漁業就業セミナーを実施して就業・定着を支援する。

(8) あゆ種苗生産委託事業費 ④ 58,111千円

内水面漁業の振興を図るため、河川放流用などのアユの稚魚の生産を行う。

(9) 海底・漂流等ごみ対策事業費 ④ 10,000千円

台風等自然災害により、相模川や酒匂川などの主要河川から海に流出し、漁業の操業に支障をきたす流木等の海底・漂流等ごみの回収・運搬・処理を行うとともに、市町が単独で実施する海洋ごみの回収及び処理事業への助成を行う。

(10) 水産業経営安定対策費 ⑤ 29,894千円

漁業者等の経営安定や近代化等を図るため、必要な資金を低利で借りられるよう融資する金融機関へ利子補給するほか、不漁等の損失を補填する共済事業に補助する。

(11) 水産技術センター試験研究費 ① 102,700千円

水産資源の適切な管理、漁場環境や生態系の保全、栽培漁業や定置網漁業に関する技術の開発等を行うため、水産技術センター(三浦市三崎町城ヶ島)において各種調査・研究を行う。

● (12) 漁業無線局 I P 変換装置整備費 ④ 25,044千円

N T T 東日本がアナログ専用回線サービスを終了し I P 通信サービスへ移行することとともない、既設の無線通信設備を引き続き稼働させるために必要な設備整備を行う。

(13) 漁港漁場整備事業費 ④ 1,653,140千円☆

漁港の機能を維持するため、基本計画等に基づいて県営漁港の整備を実施するとともに、市町が実施する市町営漁港の整備に対して補助する。

＜実施地区＞県営漁港整備 三崎漁港（三浦市）、小田原漁港（小田原市）
市町営漁港整備 佐島漁港（横須賀市）ほか7漁港

● (14) 漁港台帳等整備費 ④ 30,200千円

漁港台帳をはじめとした漁港及び漁港海岸における各種情報を電子データ化し、クラウド上の安全なサーバで保管する。

GREEN×EXPO 2027に向けた取組

(1) GREEN×EXPO 2027 会場建設費補助 ④ 952,224千円☆

令和9年に開催される GREEN×EXPO 2027の会場準備を進めるため、主催者である GREEN×EXPO協会が行う会場建設事業に対して補助する。

一部④ (2) GREEN×EXPO 2027 機運醸成費 ①

257,000千円☆

GREEN×EXPO 2027の開催に向けて、県内全域の機運醸成を図るため、新たに県出展エリアに植栽する花の一部を県内の学校で育てていただくなど、GREEN×EXPO協会や県内市町村、関係団体等と連携しながら、戦略的かつ効果的なPRを行う。

(3) GREEN×EXPO 2027 出展事業費 ④

862,000千円☆

GREEN×EXPO 2027会場の県出展エリアにおける屋外庭園及び屋内展示施設の設計及び工事等を行う。

④ (4) GREEN×EXPO 2027 出展運営費 ④

1,553,154千円☆

GREEN×EXPO 2027会場の県出展エリアにおいて、県出展のメインテーマである「“Vibrant INOCHI” 一人ひとりの“いのちが輝く”」を発信するため、屋外庭園、屋内展示及び催事の運営等を行う。

④ (5) GREEN×EXPO 2027 賓客接遇費 ⑤

117,541千円☆

GREEN×EXPO 2027開催期間中に多数の来場が見込まれる国内外からの賓客等に対し、適切な接遇を行う。

④ (6) 事業用等EV導入費補助（再掲） ①

870,000千円☆

来場者の移動を円滑にするとともに、GREEN×EXPO 2027を契機としてEVバスの普及を加速化させるため、EVバスの導入に対して補助する。

Ⅲ 参考資料

1 脱炭素社会の実現に向けた取組

2050年脱炭素社会の実現に向けて、2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で50%削減する中期目標を達成するため、企業や家庭など様々な主体の取組を後押しするとともに、県有施設への太陽光発電の導入など県庁の率先実行の取組を推進する。

区 分	令和8年度の主な事業と予算額
1 産業・業務部門の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者の脱炭素化への支援〔環境農政局・産業労働局〕 18億4,700万円 <p>事業者の脱炭素化を促進させるため、大企業等の取組を評価し結果を公表することでその取組を後押しするとともに、中小企業等の取組状況を3つのステップ（知る・測る・減らす）に区分し、ステップに応じたきめ細かい支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知る：公益財団法人神奈川産業振興センターが行う相談窓口の設置等に対する補助 ・測る：省エネルギー診断やCO₂排出量管理システム導入に対する支援 ・減らす：省エネルギー設備や自家消費型再生可能エネルギー設備の導入に対する補助等
	<ul style="list-style-type: none"> ・イノベーションの創出に向けた研究開発・新技術の実用化促進〔産業労働局〕 1億9,779万円 <p>脱炭素化に資する新たな技術等を実用化するため、大学や企業との共同研究開発の推進や、大企業の研究所等と中小企業等の連携による研究開発を支援する。また、ベンチャー企業の有する技術やアイデアを活かした新たなサービス等の開発・実証を支援する。</p>
	18億4,700万円
	○ その他 V P P形成促進事業費補助など7事業 1億1,956万円
2 家庭部門の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素の自分事化に向けた普及啓発〔環境農政局〕 7,226万円 <p>県民の脱炭素化に向けた意識を醸成するため、地域でのワークショップや脱炭素に資する商品の購入等にポイントを付与する「かながわCO₂CO₂（コツコツ）ポイント」事業を実施する。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の省エネ化・太陽光発電設備導入等への支援〔環境農政局〕 7億 700万円 <p>住宅の脱炭素化を促進するため、中小工務店が施工するネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（Z E H）の新築等に対する補助を拡充するとともに、既存住宅の省エネ改修に対して補助する。また、住宅への太陽光発電と蓄電池を併せた導入に対する補助を拡充する。</p>
	7億7,926万円
3 運輸部門の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・電気自動車（E V）・燃料電池自動車（F C V）の導入促進〔環境農政局〕 15億2,400万円 <p>人流・物流のゼロカーボン化に向けて、E V（バス、タクシー、トラック及びレンタカーに限る）の導入や充電設備の整備等に対して補助する。また、国の「燃料電池商用車の導入促進に関する重点地域」に選定されたことを受け、新たにF Cバスの導入等に対して補助するとともに、F Cトラックの導入等や水素ステーションの運営に対する補助を拡充する。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・GREEN×EXPO 2027（国際園芸博覧会）を契機としたE Vバスの導入促進（※1）〔環境農政局〕 8億7,000万円 <p>来場者の移動を円滑にするとともに、GREEN×EXPO 2027を契機としてE Vバスの普及を加速化させるため、E Vバスの導入に対して補助する。</p>
	15億2,400万円
4 廃棄物部門・その他ガス・吸収源対策	<ul style="list-style-type: none"> ・CO₂吸収源対策（グリーンカーボン）の促進〔環境農政局〕 7,434万円 <p>木造施設の建築時に使用する木材に固定されている炭素量等に対する補助や、無花粉スギの中から特に成長に優れた品種を選抜し、県独自のエリートツリーとして開発を行う。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・CO₂吸収源対策（ブルーカーボン）の促進〔環境農政局・政策局〕 4,607万円 <p>水産資源の回復やブルーカーボンの取組を推進するため、漁業者や市民団体と連携し、早熟カジメ等の移植による藻場の再生を加速化させる。また、藻場再生の担い手による自立的かつ継続的な取組を可能にするため、水中ドローン等の新技術を活用してCO₂吸収量を測定するとともにブルーカーボンクレジット申請の伴走支援等を行う。</p>
	17億6,711万円
	○ その他 廃棄物総合対策推進事業費など21事業 16億4,670万円

5 横断的な取組	一部 (新)	・水素社会の実現に向けた取組〔環境農政局〕	3億6,900万円
		国の「燃料電池商用車の導入促進に関する重点地域」に選定されたことを受け、新たにF Cバスの導入等に対して補助するとともに、F Cトラックの導入等や水素ステーションの運営に対する補助を拡充する。	
		・自家消費型再生可能エネルギー導入費補助〔環境農政局〕	9億9,300万円
		事業所への再生可能エネルギー・蓄電池の更なる導入拡大を図るため、自家消費型の再生可能エネルギー・蓄電池の導入に対して補助する。	
		・住宅用太陽光発電・蓄電池導入費補助〔環境農政局〕	4億3,000万円
		住宅への太陽光発電・蓄電池の更なる導入拡大を図るため、太陽光発電と蓄電池を併せた導入に対する補助を拡充する。	
		・太陽光発電初期費用ゼロ促進事業費補助〔環境農政局〕	1億2,700万円
		住宅への太陽光発電・蓄電池の更なる導入拡大を図るため、初期費用ゼロで住宅に太陽光発電・蓄電池を導入する事業（住宅用0円ソーラー）に対して補助する。	
		・Z E H導入費補助〔環境農政局〕	9,000万円
		住宅の脱炭素化を促進するため、中小工務店が施工するネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（Z E H）の新築等に対する補助を拡充する。	
27億 902万円	一部 (新)	・次世代型太陽電池の早期普及に向けた取組〔環境農政局〕	(※2)6,007万円
		次世代型太陽電池の早期普及を図るため、これまで設置が困難であった工場や倉庫等の民間施設における実証に対して補助するとともに、新たに、限定的に供給されるペロブスカイト太陽電池を県有施設に先行的に設置する。	
		○ その他 脱炭素普及推進費など19事業	6億3,995万円
6 県庁の 率先実行	一部 (新)	・県有施設の照明のL E D化〔環境農政局〕	107億3,982万円
		県有施設の照明を2027年度までに原則L E D化するため、重点的に整備を行う。	
		・県有施設への太陽光発電等の導入〔環境農政局〕	24億9,705万円
		設置可能な県有施設において、2030年度までに50%、2040年度までに100%の導入を図るため、境川遊水地公園（藤沢市今田）等に太陽光発電等を設置する。また、新たに県が初期投資なしで太陽光発電を設置できる仕組み（P P A）の導入に向けて取り組むとともに、限定的に供給されるペロブスカイト太陽電池を県有施設に先行的に設置する。	
		・県有施設の再生可能エネルギー電力の利用〔環境農政局〕	(※3)一万円
		2030年度までに全県有施設の使用電力を100%再生可能エネルギー化するため、再生可能エネルギー電力を調達する。	
138億 336万円		・公用車の電動車化〔環境農政局〕	5億6,648万円
		代替可能な車両がない場合を除き、公用車を2028年度までに全て電動車化（E V、F C V、P H V、H V）するため、182台を電動車化する。	

備考 5の計27億902万円のうち、1～3との重複（20億7,555万円）を除いた額は6億3,347万円

※1 E Vバス補助に対する予算額は、電気自動車（E V）・燃料電池自動車（F C V）の導入促進15億2,400万円の内数

※2 実証補助に対する予算額。県有施設への先行的な設置は県有施設への太陽光発電等の導入24億9,705万円の内数

※3 各局の維持運営費に計上しているため、「一万円」としている。

合 計 203億5,421万円

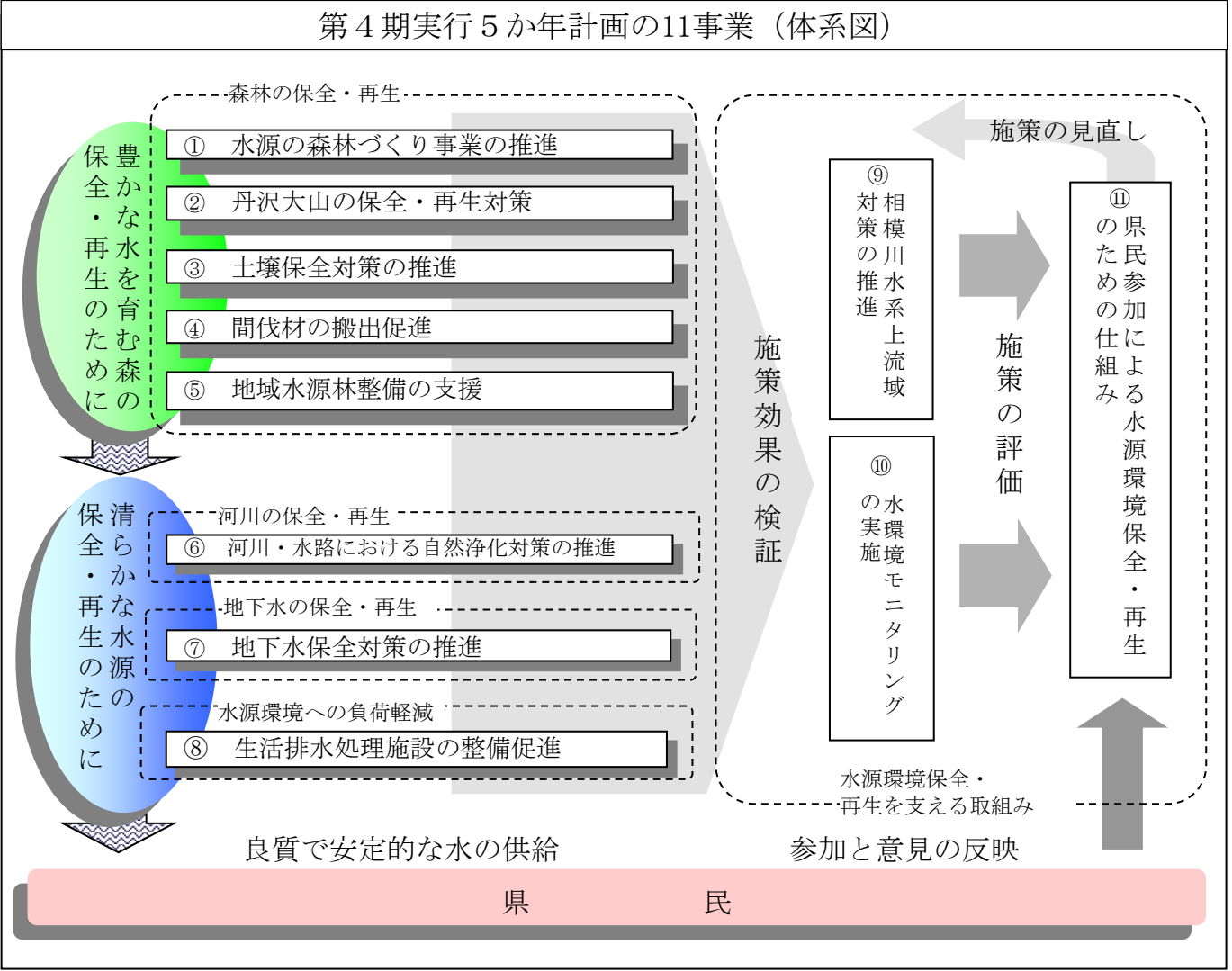
2 循環型社会づくりの推進

「神奈川県循環型社会づくり計画」に基づき、廃棄物の排出抑制・再使用・再生利用・適正処理及び不法投棄・不適正保管の未然防止対策等を推進する。

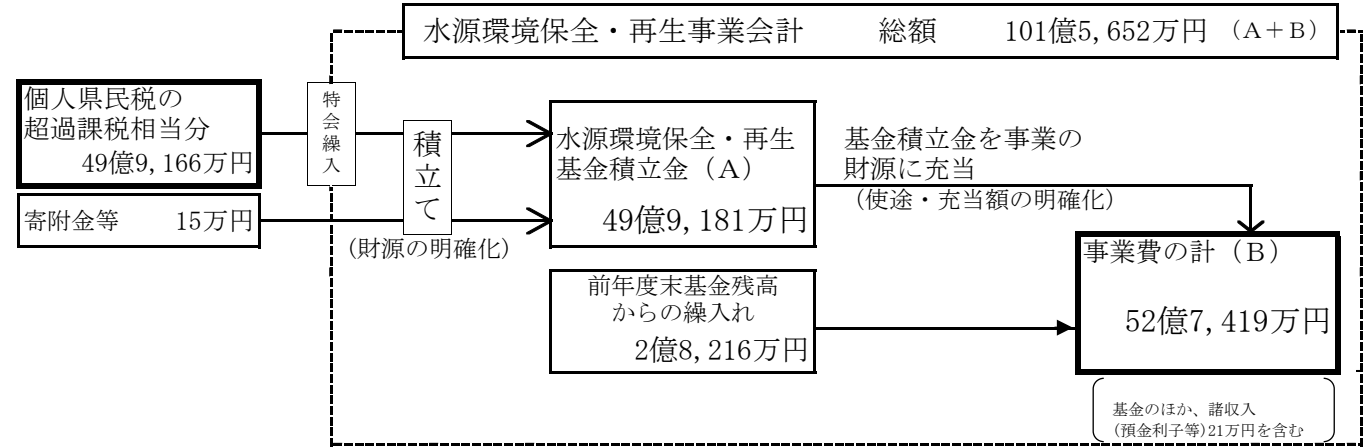
令和8年度の主な事業		予算額
I 資源循環の推進 廃棄物の排出そのものをできる限り減らすため、不要となったものでも使えるものはできるだけ繰り返し使い、繰り返し使えないものは資源として活用する3R（リデュース：排出抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生利用）の一層の推進に取り組むとともに、その中でも最も重要な2R（リデュース、リユース）の取組を重点的に推進する。 また、プラスチックなど化石資源を原料とするものは、紙やバイオマスプラスチックなど再生可能な資源に置き換えるRenewable（リニューアブル）の取組も推進する。		139億2,688万円
1 排出抑制、再使用の推進 ・循環型社会づくり推進事業費 216万円〔環境農政局〕 ・プラスチックごみ削減推進事業費 157万円〔環境農政局〕 ・市町村廃棄物処理事業等指導費 279万円〔環境農政局〕 一部(新)・プラスチック等資源循環普及啓発推進費 2,935万円〔環境農政局〕 (新)・食べ残し食品持ち帰り促進事業費 350万円〔環境農政局〕 一部(新)・市ケ尾高校整備工事費ほか（一部） 70億8,626万円〔教育局〕		87億3,482万円
2 再生利用等の推進 ・廃棄物総合対策推進事業費（一部） 1,439万円〔環境農政局〕 ・畜産環境保全推進事業費（一部） 134万円〔環境農政局〕 ・管渠、ポンプ場及び処理場費（一部） 48億5,147万円〔県土整備局〕 ・水力発電施設等維持運営事業費ほか 2億4,627万円〔企業局〕		51億1,663万円
3 環境教育・学習及び人材育成の推進等 一部(新)・海岸漂着物等対策普及啓発推進費 2,864万円〔環境農政局〕 ・環境学習推進事業費 242万円〔環境農政局〕 ・脱炭素普及推進費（一部） 976万円〔環境農政局〕 ・県立高校指定校事業費（一部） 539万円〔教育局〕		7,543万円
II 適正処理の推進 廃棄物の適正処理を推進するため、排出事業者及び処理業者への指導や県民、事業者及び市町村等と連携・協力した不法投棄・不適正保管対策を推進する。 また、環境美化と海洋プラスチック問題の解決に向け、県内全域においてクリーン活動を推進する。		9億4,965万円
1 廃棄物の適正処理の推進 ・産業廃棄物最終処分場維持管理費 2億 223万円〔環境農政局〕 ・産業廃棄物最終処分場埋立等事業費 3億5,758万円〔環境農政局〕 (新)・リチウムイオン電池等の適切な分別に向けた普及啓発事業費 250万円〔環境農政局〕		5億9,189万円
2 不法投棄・不適正保管の未然防止対策の推進 ・不法投棄対策等推進費 1,017万円〔環境農政局〕 ・河川一般管理費（一部） 530万円〔県土整備局〕		2,684万円
3 クリーン活動の推進 ・海岸漂着物等対策事業費 1億9,096万円〔環境農政局〕 ・海岸漂着物等対策事業費補助（市町村） 1億 338万円〔環境農政局〕		3億3,090万円
III 災害廃棄物対策 大量の廃棄物の発生が想定される大規模災害に備え、平時から必要な処理体制の構築を進めるとともに、発災時には災害廃棄物を適正かつ円滑・迅速に処理できるよう、「神奈川県災害廃棄物処理計画」に基づき、国、市町村等との協力体制の構築等を進める。		800万円
・廃棄物総合対策推進事業費（一部） 800万円〔環境農政局〕		

3 水源環境保全・再生への取組（水源環境保全・再生事業会計）

- 施策大綱期間の最終年を迎え、水源環境保全・再生の取組を効果的かつ着実に推進するため策定した第4期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画に基づき、施策の最終目標に向けて11の特別対策事業を推進する。
- これらの事業については、個人県民税の超過課税（水源環境保全税）等を財源とする。
- 事業の財源とその使途及び充当額を明確化するため、水源環境保全・再生事業会計及び水源環境保全・再生基金により運営する。



○ 事業費及び資金の流れの概要



令和8年度の事業			予算額
1 豊かな水を育む森の保全・再生への取り組み			33億7,033万円
①水源の森林づくり事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・水源林確保事業費 2,135万円 ・水源林整備事業費 2億4,205万円 ・水源林づくり事務費 6,927万円 ・水源林長期施業受委託事業費 8億7,454万円 ・かながわ森林塾推進事業費 9,215万円 		12億9,938万円
②丹沢大山の保全・再生対策	<ul style="list-style-type: none"> ・丹沢大山保全・再生対策事業費 3億 195万円 		3億 195万円
③土壌保全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・水源林基盤整備事業費 4億8,156万円 ・高標高域自然林土壌保全対策事業費 1億7,556万円 ・中標高域土壌保全対策事業費 299万円 ・高標高域人工林土壌保全対策事業費 9,087万円 		7億5,100万円
④間伐材の搬出促進	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐材搬出促進事業費 3億 822万円 ・間伐材搬出促進事業事務費 150万円 		3億 972万円
⑤地域水源林整備の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村補助金（地域水源林整備） 7億 30万円 ・高齢級間伐促進事業費 797万円 		7億 827万円
2 清らかな水源の保全・再生への取り組み			15億8,450万円
⑥河川・水路における自然浄化対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村補助金（河川・水路整備） 2億4,200万円 		2億4,200万円
⑦地下水保全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村補助金（地下水保全対策） 1億4,120万円 		1億4,120万円
⑧生活排水処理施設の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村補助金（生活排水処理施設整備） 12億 130万円 		12億 130万円
3 水源環境保全・再生を支える取り組み			3億1,935万円
⑨相模川水系上流域対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備共同事業費 2,000万円 ・生活排水対策共同事業費 3,121万円 		5,121万円
⑩水環境モニタリングの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・水源環境調査費 6,256万円 ・森林環境調査費 1億4,962万円 		2億1,218万円
⑪県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・県民会議等運営費 5,284万円 ・市民事業等支援費 311万円 		5,596万円

合 計

52億7,419万円

4 持続可能な農林水産業の実現

生産性の向上を図り、持続可能な未来につながる農林水産業を構築するため、スマート機器等の導入、担い手の育成・確保、飼料生産に向けた機械整備の推進などに取り組む。

令和8年度の主な事業		予算額
1 農業の活性化		28億 904万円
一部 新	① 持続可能な農業の構築に向けた取組 産地や農業者のスマート機器等の導入に対して補助するとともに、施設栽培における脱炭素・低コスト技術の開発、かながわ農業アカデミーに脱炭素農業モデルを普及するための設備等を整備するほか、水田脱炭素の実証実験を行う。	8,534万円
	② 新規就農者の確保・支援 新規就農者の確保と本県農業の将来を担う人材を育成するため、技術支援や機械・施設等の導入に対する補助等を実施する。また、農福連携や経営発展段階の農業者に対する研修等を行う。	6,749万円
	③ トップ経営体等担い手の育成支援 販売額3,000万円以上の「トップ経営体」を育成するため、研修修了者が規模拡大に向けて行う施設整備等に対して補助する。また、農業者自らの新規アイデアの導入等に対して支援する。	4,228万円
	④ AI農業調査研究システム化事業費 短期間での技術継承、産地の維持発展につながる匠の技の見える化や指導・学習システムの構築を行う。	547万円
	⑤ 農地集積の推進 農地の売買や貸借による担い手への農地集積を推進し、農業経営の規模拡大、農地利用の効率化を図るため荒廃農地の復旧を行うとともに、農地の中間的受け皿となる農地中間管理機構に対して補助する。また、同機構に農地を貸す地域へ協力金を交付する市町村に対して補助する。	9,224万円
	⑥ 生産基盤の整備推進 農作業の効率化や、農作物の流通の改善等を図るため、ほ場（田んぼや畑などの耕地）、水路、農道等の生産基盤を整備するほか、基盤整備と一体とした企業参入を促進する取組を行う。	20億 43万円
	⑦ 里地里山の保全等促進 里地里山の保全等を促進するため、多様な人材の継続的な参画に向けた、活動団体と大学や企業及び都市住民等のマッチング等を行う。また、地域資源を活用した体験ツアーや地域製品の販売促進など収益力向上の支援をする。	1,452万円
	⑧ 持続可能で脱炭素社会に貢献する畜産経営の推進 持続可能な畜産経営を推進するため、飼料用米等の栽培、エコフィード活用、農地の集積に取り組む。また、県内畜産経営における脱炭素の取組を推進するため、地域資源を活用した牛由来の温室効果ガス発生抑制の検証を行う。	2,440万円
	⑨ 畜産業における経営基盤強化・販路拡大 生産性の向上や人材確保による経営基盤の強化を図るため、酪農経営における後継牛確保対策や、県内高校生等に対する実践的な研修のフォローアップを行う。	6,128万円
	⑩ 特定家畜伝染病対策 家畜伝染病のうち、発生時に大きな影響を及ぼす特定家畜伝染病（豚熱、口蹄疫、鳥インフルエンザ等）について、農場の飼養衛生管理の強化等により、県内における発生予防を図るとともに、万が一発生した際に備えた体制の充実・強化を行う。	1億3,295万円
	⑪ 耕畜連携によるエシカル農産物生産の取組 堆肥や飼料を通じた畜産農家と耕種農家の連携（耕畜連携）を推進するため、畜産農家における良質堆肥生産態勢の構築や耕種農家における飼料作物栽培の支援、生産された農産物の高付加価値化に向けた検討を行う。	1,178万円
○その他 6次産業化支援体制整備事業費など		2億7,082万円

令和 8 年度の主な事業		予算額
2 林業の活性化		19億9,348万円
⑫ 持続可能な林業の構築に向けた取組 スマート機器等の導入に対して補助するとともに、木造施設の建築等により抑制される炭素排出量及び使用する木材に固定（吸収）されている炭素量に対する補助や、無花粉スギの中から特に成長に優れた品種を選抜し、県独自のエリートツリーとして開発を行う。		6,028万円
⑬ かながわ森林塾推進事業費 林業の労働力確保や就業者の育成を図るため、かながわ森林塾において新規就業希望者及び中堅・上級技術者を対象とした研修を実施する。		9,215万円
⑭ 間伐材の搬出支援 間伐材の有効活用の促進を図るため、間伐材の集材・搬出や神奈川県森林組合連合会が行う原木の安定流通等を確保する取組に対して補助する。		3億 822万円
⑮ 森林環境譲与税における県の取組 市町村が行う森林の整備や木材利用等に関する施策を支援するため、人材・技術支援、森林情報を一元管理するシステムの運用保守、森林基盤情報の整備、広葉樹材の活用支援等を行う。また、森林や木材利用に関する普及啓発のため、県産木材の普及PRイベント等の事業を行う。		1億4,201万円 (再掲4,350万円)
⑯ 林道開設・改良事業費 森林の適正な管理や木材生産の効率性、車両通行の安全性の向上を図るため、林道の開設や、法面保全、舗装等を行う。		14億3,430万円
3 水産業の活性化		8億 828万円
⑰ 魅力ある水産業の実現に向けた取組 持続可能な水産業を実現するため、早熟カジメ等を利用した藻場の再生や、本県の海に適した養殖の普及、定置網漁業のスマート化等に取り組む。また、内水面漁業と地域の振興を図るため、丹沢ヤマメや背掛りアユを活用して遊漁者や観光客等の増加に取り組む。 さらに、漁業者の所得向上を図るため、地域特産品の創出や、海業の推進など神奈川らしい水産業を振興する。		9,491万円
⑱ 水産資源の適切な管理、漁場環境等の調査・研究 水産資源の適切な管理、漁場環境や生態系の保全、栽培漁業や定置網漁業に関する技術の開発等を行うため、水産技術センターにおいて各種調査・研究等を行う。		9,529万円
⑲ 三崎・小田原特定漁港漁場整備 災害時の水産物流通拠点としての機能の確保や水産業の振興を図るため、三崎漁港及び小田原漁港において漁港施設の機能保全工事を行うとともに、海岸背後の人命・資産を高潮や波浪から防護するため、小田原漁港海岸において海岸保全施設の整備を行う。		4億4,800万円
○その他 あゆ種苗生産委託事業費など		1億7,008万円

合 計 56億1,081万円

5 GREEN×EXPO 2027に向けた取組

令和9年3月から本県で開催されるGREEN×EXPO 2027に向けて、主催者であるGREEN×EXPO協会と連携して会場建設や県出展エリア等の準備を進めるとともに、県内全域で機運醸成を図る。

また、GREEN×EXPO 2027の開催期間中、県出展エリアの屋外庭園、屋内展示及び催事並びに催事場の運営等を行うとともに、GREEN×EXPO 2027を契機とした観光振興の取組等を行う。

区 分	令和8年度の主な事業と予算額
1 会場建設費補助 9億5,222万円	<ul style="list-style-type: none"> ・GREEN×EXPO 2027会場建設費補助〔環境農政局〕 9億5,222万円 令和9年に開催されるGREEN×EXPO 2027の会場準備を進めるため、主催者であるGREEN×EXPO協会が行う会場建設事業に対して補助する。
一部(新) 2 機運醸成に向けた取組 2億6,371万円	<ul style="list-style-type: none"> ・GREEN×EXPO 2027機運醸成費〔環境農政局〕 2億5,700万円 GREEN×EXPO 2027の開催に向けて、県内全域の機運醸成を図るため、GREEN×EXPO協会や県内市町村、関係団体等と連携しながら、戦略的かつ効果的なPRを行う。 ・GREEN×EXPO 2027機運醸成絵本制作費〔政策局〕 671万円 GREEN×EXPO 2027における県出展テーマを幅広い世代に分かりやすく伝える絵本を活用し、県内施設や各種イベント等と連携しながら機運醸成に取り組む。
3 県出展エリアの準備、運営 (新) 24億1,515万円	<ul style="list-style-type: none"> ・GREEN×EXPO 2027出展事業費〔環境農政局〕 8億6,200万円 GREEN×EXPO 2027会場の県出展エリアにおける屋外庭園及び屋内展示施設の設計及び工事等を行う。 ・GREEN×EXPO 2027出展運営費〔環境農政局〕 15億5,315万円 GREEN×EXPO 2027会場の県出展エリアにおいて、県出展のメインテーマである「“Vibrant INOCHI” 一人ひとりの“いのちが輝く”」を発信するため、屋外庭園、屋内展示及び催事の運営等を行う。
(新) 4 賓客等の接遇 1億1,754万円	<ul style="list-style-type: none"> ・GREEN×EXPO 2027賓客接遇費〔環境農政局〕 1億1,754万円 GREEN×EXPO 2027開催期間中に多数の来場が見込まれる国内外からの賓客等に対し、適切な接遇を行う。
一部(新) 5 来場者輸送に係るEVバスの導入 8億7,000万円	<ul style="list-style-type: none"> ・運輸部門脱炭素推進事業費補助〔環境農政局〕 8億7,000万円 来場者の移動を円滑にするとともに、GREEN×EXPO 2027を契機としてEVバスの普及を加速化させるため、EVバスの導入に対して補助する。
6 催事場の準備及び運営 (新) 5億7,741万円	<ul style="list-style-type: none"> ・GREEN×EXPO 2027催事場共同利用負担金〔文化スポーツ観光局〕 4億 500万円 県のステージ出展で活用する催事場の建設費及び施設運営管理費の一部を負担する。 ・GREEN×EXPO 2027文化出展事業費〔文化スポーツ観光局〕 1億5,772万円 県出展のメインテーマをわかりやすく伝えるオリジナルミュージカルの上演に向けた準備を行い、会期中に上演する。 ・GREEN×EXPO 2027催事場活用事業費〔文化スポーツ観光局〕 1,469万円 県の魅力を広くPRするための文化芸術コンテンツを出展する。

7 県内周遊・宿泊を促す取組 一部	新 新	・デスティネーションキャンペーン推進事業費〔文化スポーツ観光局〕	1億3,000万円
		観光客の誘致・周遊を図るため、ＪＲ及び横浜市と共同で「神奈川・横浜デスティネーションキャンペーン」を実施する。	
		・国内観光プロモーション事業費 ・GREEN×EXPO 2027魅力発信事業費〔文化スポーツ観光局〕	1億 628万円
2億3,628万円		観光客の誘致・周遊を図るため、花スポット等を巡るデジタルラリーや、会場内で県産品を紹介・販売するブースの出展等を行う。	
8 子どもの体験支援	新 新 新	・GREEN×EXPO 2027子ども体験促進事業費 ・GREEN×EXPO 2027校外学習支援事業費（私立分） ・GREEN×EXPO 2027校外学習支援事業費（国公立分）〔福祉子どもみらい局、教育局〕	3億7,284万円
		県内の希望する子どもの来場や、学校の校外学習等での来場の機会を提供するため、入場料を支援する。	
		3億7,284万円	
9 その他	新 新	・会場周辺の交通需要マネジメント〔県土整備局〕	4,000万円
		・会場の警戒・警備〔警察本部〕	4,610万円
8,610万円			

合 計 58億9,127万円